

ガラスにまつわるエトセムラ

妖精の森ガラス美術館 三浦 和

12月から開催中の後期収蔵作品展。今回もウランガラスの干支を展示しています。ガラス美術館収蔵の干支作品は二人の作家にそれぞれ6支ずつ制作してもらっています。

ひとりこばやしりょうじは広島県福山市に工房を構える小林亮二さんです。小林さんはうつわ類を主に制作される方ですが、干支や節句作品も得意な作家です。小林さんの干支は全体的に可愛らしい感じの作風で、見ているとほのぼのとした気持ちになります。

二人目しらかのりひろは倉敷市在住の白神典大さんです。白神さんは工房を構えて20年以上になる方で、躍動感のある干支作品を制作されます。今年の干支「辰」は白神さん制作です。作品は大小様々な胴体部分のパーツを組み合わせてできており、その見た目はまるで龍が雲海を飛んでいるかのようです。最初見たときはアイデアの見事にすごく感心したのを今でも覚えています。

ウランガラスの干支作品は2階企画展示室の中央に展示しています。紫外線は当たっていないので光っていませんが、明るい照明の中で細部まで見やすくしています。

ご来館の際にはじっくりとご観賞ください。



小林さんの干支「申」、「酉」



白神さんの干支「辰」

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話 (0868) 44-7888

今月の

緑のふるさと協力隊便り

為国友梨さん

これを書いている12月末現在、雪がほとんどありません。去年はドカ雪で参ったのでもう少し穏やかな冬であってほしいです。

12月は餅の加工場や個人宅での餅つき、そば打ち、公民館のしめ縄作りなど年末らしい活動を楽しみました。自作のお正月飾り、玄関にかけて新年を迎えたいと思います。その他牛の乳搾りや高齢者向けのお弁当作り、サロン、大阪北千里での農産物等の販売など今月もあちこちで活動させてもらいました。

協力隊の任期も残りわずか。行きたかったところ、したかったこと、心残りのないようにしていきたいです。

尾形有紀さん

毎日毎日、寒い日が続きますね。身を切るような、地元では味わったことのない寒さを体感しています。

さて、12月はサロンでクリスマス会をしたり、色々な場所でしめ縄づくりや門松づくり、餅つき、そば打ちをしたりしました。また、牛の削蹄や牛舎の見学、乳牛のお世話など、牛にかかわる活動もたくさんしました。

緑のふるさと協力隊としての任期も終わりに近づいています。悔いのないようにまだやったことのない活動や冬のイベントも楽しんでいきたいです。

地域おこし協力隊活動記録

皆さんこんにちは。二次元コンテンツで町おこしのミッションを行っている土田です。

新年あけましておめでとうございます。冬本番となり、2023年度終了まであと僅かとなってまいりました。今年度の活動の締めくくりといたしまして、2月10日～3月31日まで、温泉むすめのスタンプラリーを行います。温泉むすめのグッズやパネルを扱う対象の店舗にて買い物をしたりするとスタンプが貰えて、一定数集めると景品が貰えるというものです。

昨年は宿泊キャンペーンを行いました。今年はそれにプラスして買い物とワードラリーを追加しどれだけの人数が町内を周遊するか統計を取りたいと思います。

また、2月上旬には鏡野町商工会でも温泉むすめの新パネルが公開となります。これを機に関係店舗を増やしていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

地域おこし協力隊 土田 捷太

